

みんなでつくる安全なまちづくり

秩父市では、世界基準の安全・安心なまちづくりを進める都市として、セーフコミュニティの取り組みを推進しています。セーフコミュニティとは、「事故やケガは偶然起こるのではなく、予防することができる」という理念に基づき、根拠となるデータを検証しながら、市民の皆さんとさまざまな団体が協働して予防対策を行う安全・安心なまちづくりです。当市では7つの分野ごとにデータの分析、取り組みを実施していますが、今回は自殺予防対策委員会の取り組みについてご紹介します。

自殺予防対策委員会では、次の取り組みを推進しています。

人口動態統計から死亡率を見ると、外傷において最も多いのが「自殺」です。自殺の原因として最も多い「健康問題」のうち7割が「精神障害」で、その6割が「うつ病」であることから、自殺問題とうつ病に対する理解を深めるとともに、自殺問題を秩父地域全体で考えることを目的に、市民を対象とした「自殺予防フォーラム」で講演会を実施しています。



自殺予防フォーラム



若年層のメンタルヘルス講演会

啓発活動では、自殺未遂者やその家族へ、相談窓口を記載したパンフレットを配布するとともに、チラシ・ポスター・ポケットティッシュなどを作製し、駅

また、昨年は40歳以上の市民を対象として、自殺の原因の一つでもあるうつ病と睡眠は深い関係があることから、睡眠についての講演会を行ったほか、40歳未満の若年層には、企業等に参加を呼びかけて、ストレスやうつ病、職場でのメンタルヘルスに関する講演会を行いました。

や各種保健事業等において配布し、自殺予防の啓発を行っています。



西武秩父駅での自殺予防キャンペーン

次に、秩父地域では、橋やダムでの投身自殺が多いことから、危険と思われる橋へ、小学生から募集した「命の大切さに関する標語を記載した看板」を設置しています。この看板を設置してから、実際、河川等での自殺者がピーク時より減少しています。



標語入り看板の設置

次に、発見地データベースで見ると、市外からの自殺者も多

いことから、自殺のホットスポットに関する鉄道・ダム管理所、警察、消防などと連携し情報を共有するとともに、自殺のホットスポット対策に取り組んでいます。

また、自殺の事例を詳細に調べてみると、インターネット上で掲載されている自殺の場所や方法等が、秩父地域での自殺を誘引・勧誘しているのではないかと見受けられたため、埼玉県に対し、インターネット上から自殺を誘引・勧誘する情報を削除あるいは排除するためのシステム構築を要望しました。

最後に、うつ病と自殺などの問題に大きく関係しているアルコールについて、正しい飲み方ができるよう、特定健診の機会を活用し、飲酒習慣スクリーニングテストを行い、多量飲酒者に適正飲酒を啓発しています。

自殺予防対策委員会では、安全で安心な住みよいまちづくりを目標に、市内での自殺者を減らすためのさまざまな取り組みを行っています。引き続き、地域の皆さんのご協力をお願いいたします。

問 危機管理課 ☎22-2206
保健センター ☎22-10648